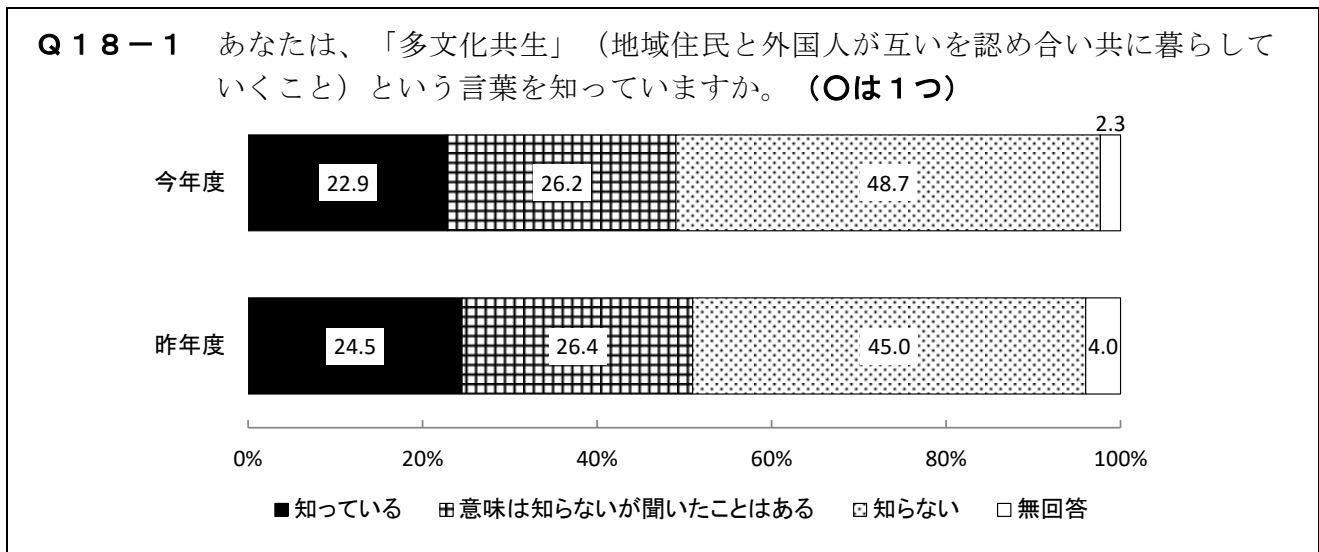


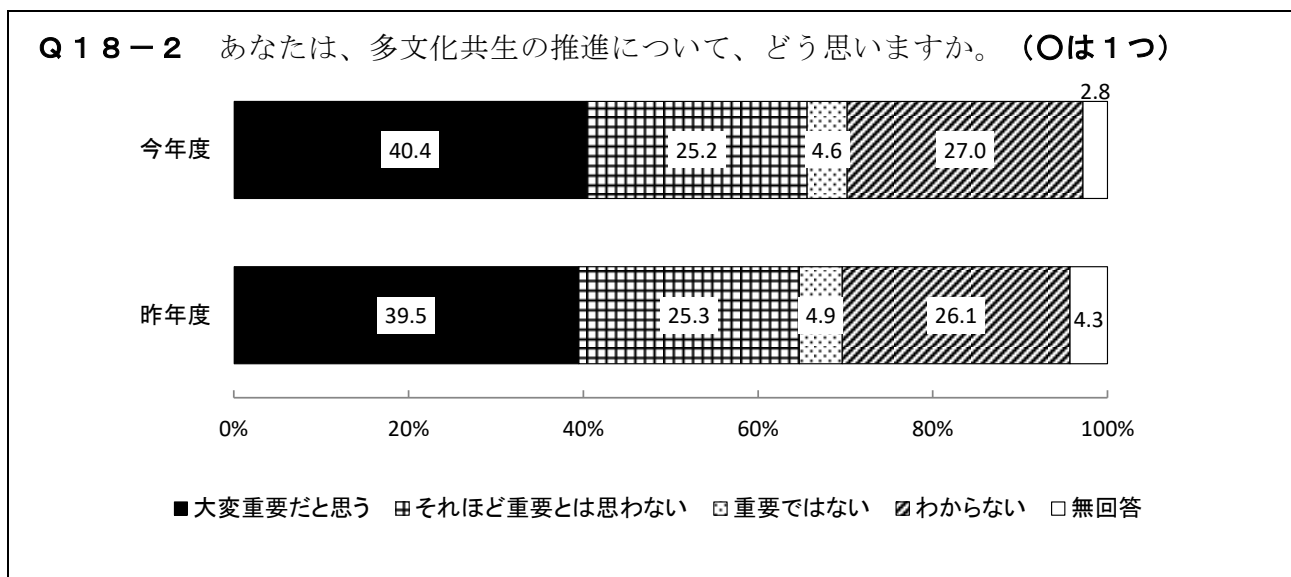
## 18. 多文化共生について

### 18-1. 多文化共生の認知度



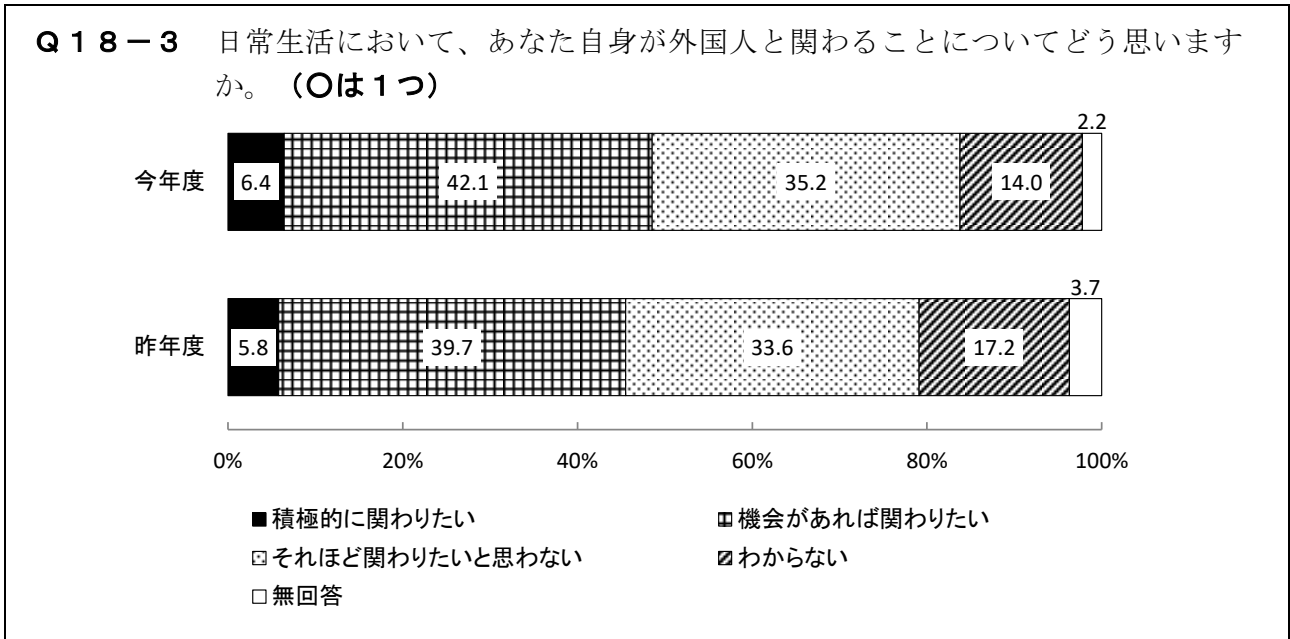
多文化共生の認知度について、「知らない」が48.7%と最も高く、次いで「意味は知らないが聞いたことはある」が26.2%、「知っている」が22.9%の順となっている。昨年度と比較すると、「知っている」は1.6ポイント、「意味は知らないが聞いたことはある」は0.2ポイントそれぞれ低下しており、「知らない」は3.7ポイント上昇している。

### 18-2. 多文化共生の推進



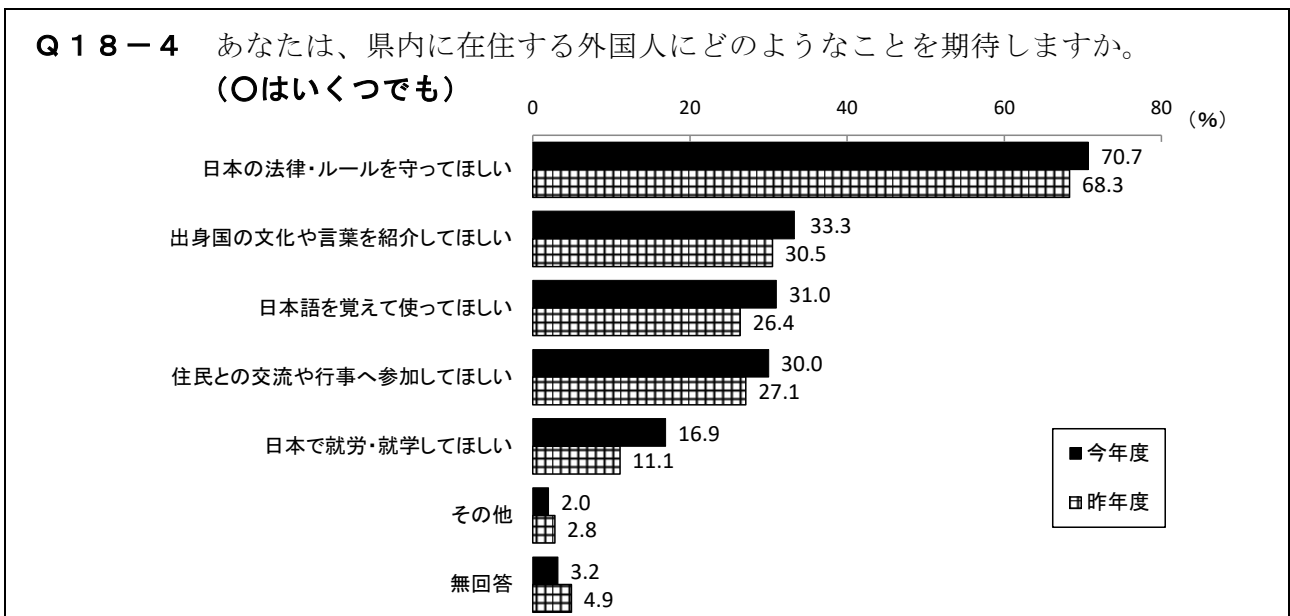
多文化共生の推進について、「大変重要だと思う」が40.4%と最も高く、次いで「わからない」が27.0%、「それほど重要とは思わない」が25.2%、「重要ではない」が4.6%の順となっている。昨年度と比較すると、「大変重要だと思う」が0.9ポイント上昇し、「それほど重要とは思わない」が0.1ポイント、「重要ではない」が0.3ポイントそれぞれ低下している。

### 18-3. 日常生活で外国人と関わることについて



日常生活で外国人と関わることについて、「機会があれば関わりたい」が42.1%と最も高く、次いで「それほど関わりたいと思わない」が35.2%、「わからない」が14.0%、「積極的に関わりたい」が6.4%の順となっている。昨年度と比較すると、「積極的に関わりたい」が0.6ポイント、「機会があれば関わりたい」が2.4ポイント、「それほど関わりたいと思わない」が1.6ポイントそれぞれ上昇している。

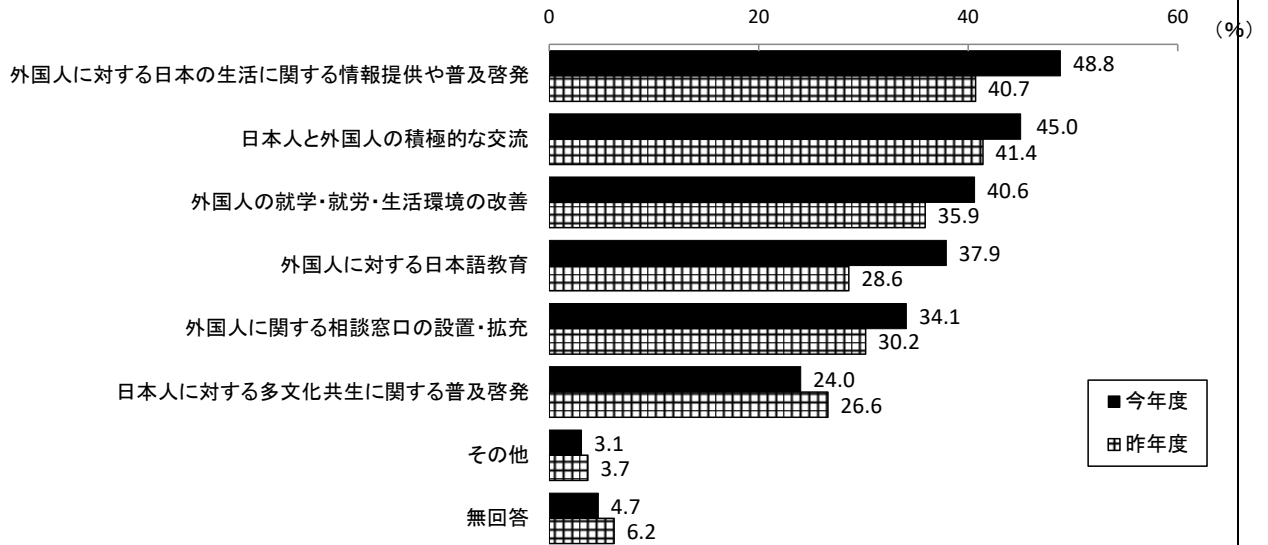
### 18-4. 県内在住の外国人へ期待すること



県内在住の外国人へ期待することについて、「日本の法律・ルールを守ってほしい」が70.7%で最も高く、次いで「出身国の文化や言葉を紹介してほしい」が33.3%、「日本語を覚えて使ってほしい」が31.0%、「住民との交流や行事へ参加してほしい」が30.0%、「日本で就労・就学してほしい」が16.9%の順となっている。昨年度と比較すると、「日本で就労・就学してほしい」が5.8ポイント、「日本語を覚えて使ってほしい」が4.6ポイントそれぞれ上昇している。

## 18-5. 多文化共生を推進していくために必要なこと

Q18-5 今後、多文化共生を推進していくためには何が必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)



多文化共生を推進していくために必要なことについて、「外国人に対する日本の生活に関する情報提供や普及啓発」が48.8%と最も高く、次いで「日本人と外国人の積極的な交流」が45.0%、「外国人の就学・就労・生活環境の改善」が40.6%、「外国人に対する日本語教育」が37.9%、「外国人に関する相談窓口の設置・拡充」が34.1%、「日本人に対する多文化共生に関する普及啓発」が24.0%の順となっている。昨年度と比較すると、「外国人に対する日本語教育」が9.3ポイント、「外国人に対する日本の生活に関する情報提供や普及啓発」が8.1ポイントそれぞれ上昇している。